



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー & プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.200001115/F/USA/JP

承認日: 2003年2月17日

作成日: 2003年12月1日

1 製品名

コダック セピア トナー

CAT No.169 1757

1 クォート

2 危険・有害性の分類

[パートA(漂白浴)] 危険: 臭化カリウム、フェリシアン化カリウムを含有。
酸と接触すると有害ガスが発生する。
酸と接触すると可燃性物質が発生する。
飲み込むと有害。
高温で分解する可能性がある。

[漂白浴 使用液] 通常取扱いでは、危険性は少ない。

[パートB(調色浴)] 危険: 硫化ナトリウム水和物を含有。
眼、皮膚に熱傷を起こす。
酸と接触すると可燃性毒ガスが発生する。
吸入したり、皮膚から吸収したり、あるいは飲み込むと有害。
粉塵は眼、呼吸器系を刺激する。

[調色浴 使用液] 通常取扱いでは、危険性は少ない。

3 物質の特定

混合物

(パートA(漂白浴))

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
臭化カリウム	50-55	007758-02-3	
フェリシアン化カリウム	45-50	013746-66-2	

(漂白浴 使用液)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	90-100	007732-18-5	
臭化カリウム	< 1	007758-02-3	
フェリシアン化カリウム	< 1	013746-66-2	

(パートB(調色浴))

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
硫化ナトリウム水和物	100	001313-84-4	

(調色浴 使用液)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	95-100	007732-18-5	
硫化ナトリウム水和物	< 1	001313-84-4	

4 応急措置

- 吸入した場合 : (パートA & 使用液)症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
(パートB)空気の新鮮な場所へ移動し、医療手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : (パートA & 使用液)眼に入った物質を直ちに水で洗い流す。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
(パートB)直ちに、多量の水で15分以上洗浄し、医療手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : (パートA & 使用液)直ちに、付着した衣類、靴などを脱ぎ、水とセッケンで洗い、症状が出たら、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。
(パートB)直ちに汚染した衣類、靴などを脱ぎ、多量の水で15分以上洗い流した後、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。
- 誤飲した場合 : (パートA)医師の指示に従い吐く。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。直ちに医師に連絡する。
(パートB)吐いてはいけない。コップ1杯の水を飲み、胃内で薄めた後、医療手当てを受けさせる。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。直ちに医師に連絡する。
(使用液)コップ1~2杯の水を飲み、胃内で薄めた後、医療手当てを受けさせる。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。

5 火災時の措置

- 消火手段 : (パートA & パートB)水スプレー、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火剤
(使用液)周辺の火災に対し、適切な薬剤を使用する。
- 火災時の特別対応手段 : (パートA & パートB)保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。
(使用液)なし

- 有害燃焼物質 : (パートA)二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、臭化水素
(パートB)硫黄酸化物
(使用液)なし
- 異常火災 / 爆発の危険性 : (パートA)粉末は爆発性の粉塵・空気混合物を形成することがある。火災や高温により分解することがある。
(パートB)粉末は爆発性の粉塵・空気混合物を形成することがある。
(使用液)なし

6 漏出時の措置

- (パートA & パートB)多量の水で洗い流すか、拭きとり化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。
(使用液)多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : (パートA)粉塵を吸い込まないように注意する。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
(パートB)眼、皮膚、衣類に付着させない。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
(使用液)適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
- 火災や爆発の防止 : (パートA)粉塵の発生および蓄積を最小限にする。酸化物質に接触させない。適度な換気をする。
(パートB)粉塵の発生および蓄積を最小限にする。酸化物質に接触させない。適度な換気をする。
(使用液)通常使用では、特に必要なし。
- 保管 : (パートA & パートB)密栓して保管する。不適合物質から離して保管する。
(使用液)密栓して保管する。

8 暴露防止措置

- 許容濃度 : 確立されていない。
- 換気 : 換気の良い場所で取扱う(10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。
- 呼吸器系の保護 : (パートA)必要なし。危険な分解物質が放出される可能性があるか、あるいは放出されている場合、顔全体を被い、与圧空気を供給する呼吸用保護具を着用する。
(パートB)空中に散布した粉末を機械的に許容値まで制御できない場合には、認定されたマスクをつける。
マスクのタイプ:ダスト
危険な分解物質が放出される可能性があるか、あるいは放出されている場合、顔全体を被い、与圧空気を供給する呼吸用保護具を着用する。
(使用液)必要なし
- 眼の保護 : 側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡の着用。
- 皮膚の保護 : 暴露の危険性を防止するために、不浸透性の手袋と適切な保護衣を着用する。
- 浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 | 物理・化学特性

	(パートA) (漂白浴)	(使用液) (漂白浴)	(パートB) (調色浴)	(使用液) (調色浴)
外観	固体(結晶)	液体	固体(フレーク)	液体
色	オレンジ	無色	淡黄色	無色
臭気	無臭	無臭	鋭い刺激臭	無臭
沸点		> 100°C		> 100°C
蒸気圧		24mbar (18mmHg) / 20°C		24mbar (18mmHg) / 20°C
蒸気密度(空気 = 1)		0.6		0.6
揮発留分(重量)		95-100%		95-100%
比重(水 = 1)		1.00 ~ 1.02	1.43	1.00
pH		8.0		> 12
水溶性	かなり溶ける	完全	かなり溶ける	完全
引火点	(可燃性固体)	なし(不燃性液体)	(可燃性固体)	なし(不燃性液体)
融点	305°C 分解する		88°C (190°F)	

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性	: (パートA)安定。ただし、310°C 以上で分解する可能性がある。 (パートB & 使用液)安定
不適合物質	: (パートA)強酸化剤、強酸。酸と接触すると可燃性物質、有害ガスが発生する。 (パートB)強酸化剤、強酸。酸と接触すると可燃性物質、有毒ガスが発生する。 (漂白浴)通常接触することが予測される一般的な物質および汚染物質では、不適合物質なし。 (調色浴)酸
危険分解物質	: (パートA)シアン化物、臭化水素 (パートB)硫化水素
危険重合物質	: 知見なし

11 | 有害性情報(暴露の影響)

吸入	: (パートA)通常の手扱いは、危険性は少ないと予想される。強酸との接触によりシアン化物ガスが発生した場合、眩暈、頭痛、急速呼吸、速脈、意識喪失、痙攣、生命に関わる恐れがある。 (パートB)吸入すると有害。空中に散布した粉塵は刺激する。酸との接触により硫化水素物ガスが発生した場合、頭痛、悪心、眩暈、錯乱、衰弱、意識喪失、痙攣、生命に関わる恐れがある。 (使用液)通常の手扱いは、危険性は少ないと予想される。
眼	: (パートA & 使用液)知見なし。一過性の炎症を起こすことがある。 (パートB)熱傷を起こす。
皮膚	: (パートA & 使用液)通常の手扱いは、危険性は少ない。 (パートB)熱傷を起こす。皮膚から吸収すると有害。
誤飲	: (パートA & 使用液)飲み込むと有害。臭化塩の摂取により、吐き気、嘔吐、頭痛、過敏症、一時的な精神錯乱、記憶喪失、食欲減退、関節痛、幻覚、気絶、昏睡そして顔、足と胴体にニキビのような発疹を生じる。 (パートB)飲み込むと有害。飲み込んだ場合、消化器系に熱傷を起こす。遊離胃酸が高い場合、胃内で硫化水素が発生し、嘔吐、呼吸困難、振せん、痙攣、死亡などの全身性中毒症状が生じることがある。

急性毒性情報

(パートA)

LD-50(経口、ラット):	0.5 ~ 5.0g/kg
皮膚刺激:	軽度
(パートB)	
LD-50(経口、ラット):	100 ~ 200mg/kg
LD-50(皮膚):	< 340mg/kg
皮膚刺激:	高度

12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

(パートA)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測していますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される特性: 水質系に流出した場合、BOD はなく、酸素を破壊する可能性もない。
 水中生物への影響は少ない。
 生物分解処理はされにくい。
 植物の発芽や初期の成長段階に影響を及ぼす可能性は中庸。
 一部の植物の苗木の成長に影響を及ぼす可能性は少ない。
 生物濃縮の可能性は少ない。
 この製品の成分は、生物濃縮しにくく、水中生物に影響を及ぼす可能性の高い物質に分解されるか、あるいは変換される。
 大量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろう。

(パートB)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測しています。本製品は強アルカリ性水溶液で、自然環境へ悪影響を及ぼすと考えられます。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される特性: 水質系に流出した場合、水中生物への影響は大きい。
 生物分解処理はされにくい。
 自然環境に残存する可能性は少ない。
 生物濃縮の可能性は少ない。
 大量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろう。

13 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物に該当。

自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

廃棄物処理法(パートA:廃アルカリ)	
水質汚濁防止法	: 生活項目
下水道法	: 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

Air Transportation

Class	: 8
国連番号(UN Number)	: UN 1849
Proper shipping name	: SODIUM SULPHIDE, HYDRATED
Subsidiary risk	:
Packing group	: 2
Passenger aircraft	:

Cargo aircraft only :
Further information : Can go by air but needs additional work before going by air

15 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR 法) :
毒物劇物取締法 :
労働安全衛生法 :
消防法危険物分類 :

16 その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意してください。